

教科名	英語科	週時間数	4時間	学年	2年
使用教科書 及び 副教材等	NEW HORIZON2(東京書籍), NEW HORIZON2学習ノート(東京書籍)ニューエンジンワーク(教育同人社), 学習の達成(新学社)				
学習のねらい	<p>○英語に親しみを持ち、学習する楽しさや進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、主体的に学習する態度を養い、主体的に学習に取り組む意欲を育みます。</p> <p>○学習した基本文型や語彙を使って、状況に応じて自分の考えを相手に伝えたり、相手の考えを聞いたりする力を養います。○簡単な内容の英文を聞き取り短い英語の文章の読み取りを通して理解する力を養います。</p> <p>○基本文型や語彙の学習を通して、言語の知識を身につけます。</p>				
目指す姿	支え合う	<p>○課題に対して、これまでの学習で身に付けた知識や経験をもとに、自分の考えをもったり、使用場面を想定して、英語を使って伝えることができる。</p> <p>○ペア・グループ活動を通じて、自分の考えを他者に伝えるときに、他者の考えを受け入れ、相違点や共通点について考えようとする事ができる。</p>			
	高め合う	<p>○課題解決に向けて、自分の考えと他者の考えを比較したり推論したりする中で、新しい考えに気付くことができる。</p> <p>○ペア・グループ活動などを通じて気付いたことをもとに、自分の考えを見直したり新しい考えを持つことができる。また、その考えを生かし次につなげていくことができる。</p>			
学習の進め方	<p>【学習への取り組む姿勢】</p> <p>○授業には常に真剣に臨み、学習活動に積極的に取り組みましょう。</p> <p>○ノートに授業のポイントや自分なりのまとめを書き込んで工夫しましょう。</p> <p>○基本文型・単語・熟語・本文はいつも声に出して、読みながら書いて覚える習慣をつけましょう。</p> <p>【家庭学習】</p> <p>○復習を中心に取り組みましょう。</p> <p>○宿題・提出物は答え合わせをし、提出期限までに出しましょう。</p> <p>【端末の活用】</p> <p>○語句の意味やスペル、文法など、ミライシード(ドリルパーク)を使って繰り返し学習しましょう。</p> <p>○目的に応じて情報を調べたり収集したりしながら、自分の考えを整理しましょう。</p>				
定期テスト	出題方針	<p>授業で行った内容を中心にワークやプリントからも出題します。「知識・技能」では、文法や単語などの基本的な知識を問う問題を出題します。リスニング問題も出題します。「思考・判断・表現」では、長文問題や、自分の立場で考えて書く英作問題を出題します。「主体的に学習に取り組む態度」では、「知識・技能」「思考・判断・表現」での取り組みから、総合的に評価をしていきます。</p>			
	範囲 (予定)	1学期中間	Unit0 My Spring Vacation～Let's Listen1		
		1学期期末	Unit2 Food Travels around the World～Learning TECHNOLOGY in English		
		2学期中間	Stage Activity1 A Message to Myself in the Future～Let's Listen4		
		2学期期末	Unit5 Universal Design～学び方コーナー③		
学年末	Let's Read2 A Glass of Milk～Let's Read3 Pictures and Our Beautiful Planet				
評価方法	観点	評価の方法		評価について	
	知識・技能	<p>○定期テスト</p> <p>○小テスト</p> <p>○パフォーマンステスト</p> <p>○プリント など</p>		<p>・小テスト・定期テスト・パフォーマンステストで80%以上の得点を取得する。(A評価)</p> <p>・簡単な語句や文を用いて、基本的な表現ができ、対話がスムーズにできる。</p> <p>・授業中の活動や提出物の状況が十分にできている。</p>	
	思考・判断・表現	<p>○定期テスト</p> <p>○振り返りの記述内容</p> <p>○授業の課題の取り組み</p> <p>○小テスト</p> <p>○パフォーマンステスト など</p>		<p>・小テスト・定期テスト・パフォーマンステストで80%以上の得点を取得する。(A評価)</p> <p>・授業中の活動で目的や場面、状況に応じた十分な取り組みができる。</p>	
主体的に学習に取り組む態度	<p>○振り返りの記述内容</p> <p>○授業の課題の取り組み</p> <p>○パフォーマンステスト</p> <p>○プリント など</p>		<p>・授業中の取り組みやパフォーマンステストなどの姿勢や学びの積み上げができる。</p> <p>・自分自身の学習の見通しや振り返りが十分にできる。</p>		